

# 川の国埼玉 はつらっプロジェクト 提案書

主題（テーマ）

市民が愛着と誇りを持てる水辺空間の創出

提案箇所

東京葛西用水/草加市/東京葛西用水地区

草加市

第四次草加市総合振興計画(H27.12)では「水とみどりのまちづくり」として、東京葛西用水の親水化が示され、行政は安全・安心のための保全、地域は清掃活動の一環としてごみ拾い等の実施が協働のイメージとして示されています。

第二次草加市観光基本計画(H28.3)には「みせる観光」として、東京葛西用水の和舟の舟行、河川沿いを含めたウォーキングツアーなどのスポーツツーリズム、「つなげる観光」として、観光マップでまち歩きを支援、県・近隣市区町の連携による相乗効果の活用が示されています。また、市民にまちに愛着と誇りをもってもらい、市民発の情報をきっかけに市外からの来街者の増加を目指すとされています。

本提案は、水辺空間を安全に安心して楽しんでもらうための護岸・人道橋・花壇・案内板の整備や散策マップの活用、アクセスの向上を図ることで、市民に東京葛西用水について、より一層の愛着と誇りをもってもらい、及び来街者の増加を目指します。

## 取組のイメージ図



■市民に愛着や誇りをもってもらうための取り組みを行います。

■水辺空間を安全で安心して楽しむため、修景護岸、人道橋、花壇の整備を行います。

■東京葛西用水の魅力を多くの人に知ってもらうため、案内板の設置、散策マップの活用、アクセスの向上を図ります。

■草加市民や隣接市民からの東京葛西用水に関する情報発信を促します。

■市民による情報発信(SNS等)により人を呼び込み、賑わいを創出します。

## 計画等の位置付け

### ■第四次草加市総合振興計画

「快適な環境～環境にやさしい水とみどりのまちをつくる」が計画として挙げられている。施策としては「水環境の保全」とし、東京葛西用水の親水化が示されている。また、役割としては行政は親水空間を安全・安心に使えるような保全、地域は清掃活動を協働のイメージとしている。

### ■第二次草加市観光基本計画

計画では「つたえる観光」、「みせる観光」、「ささえる観光」、「つなげる観光」をテーマとしており、「みせる観光」として、東京葛西用水の和舟の舟行、河川沿いを含めたウォーキングツアーなどのスポーツツーリズム、「つなげる観光」として、観光マップによるまち歩きを支援し、県・近隣市区町との連携により相乗効果の活用が挙げられている。

## 目標・成果指標

### ■東京葛西用水の魅力をも市民から情報発信

市内外からイベント参加者等呼び込みにぎわいの創出のためには、市民による情報発信が必要と考えられる。そのためには、東京葛西用水を日常的に利用していただき、愛着をもってもらうことが必要と考えられる。

### ■日常利用者の増加

東京葛西用水の遊歩道はウォーキング等で日常利用されており、歩道や景観整備で利用者の増加を目指す。

成果指標	現在	整備後
遊歩道利用者	事業着手前調査	事業着手前の1.5倍
観光入込客数	82万人 (年間)	100万人 (年間)

## 位置図



①東京葛西用水 (久伊豆ゾーン)



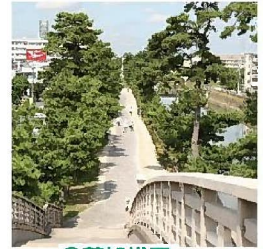
②東京葛西用水 (青柳堰ゾーン)



③東京葛西用水 (桜並木ゾーン)



④キタミソウ



⑤草加松原



⑥そうか公園



⑦草加せんべい発祥の地碑



⑧歴史民俗資料館

## 川の状況

- 市内の東京葛西用水路の両岸延長 7.0km (うち4.6kmで親水化されている)
- 活動団体 3団体
- 東京葛西用水の特徴
  - ・右岸側は遊歩道が整備され、上流は越谷市、下流は八潮市まで連続している。
  - ・遊歩道には桜並木があり、お花見、イベントのスポットとなっている。
  - ・デッキやベンチが設置されており、日常から市民の憩いの場となっている。
  - ・国の定める絶滅危惧種であるキタミソウが生息している。
- 過去の事業
  - ・水辺再生100プラン
    - 護岸工 L=864.8m
    - 花壇工 L=118.0m
    - 拠点広場工 N=1.0箇所
    - 人道橋 N=2.0箇所
  - ・川のまるごと再生プロジェクト
    - 護岸工 L=1,417.7m
    - 花壇工 L=381.1m
    - 拠点広場工 N=4.0箇所
    - 人道橋 N=3.0箇所

## まちの状況

- 地域資源
  - ・葛西用水は享保4年(1719年)、埼玉県東部の水田灌漑のためつくられた用水路である。青柳新橋付近は1.3kmに渡り約450本のソメイヨシノが並ぶ桜並木となっている。
  - ・東京葛西用水では、春に草加さくら祭り、船上金婚式等のイベントが開催されている。また、通年においてウォーキング会が開催されている。
  - ・エリア内には、国の名勝指定となった草加松原や歴史民俗資料館、草加せんべい発祥の地碑、そうか公園といったスポットがある。
  - ・東京葛西用水には国の定める絶滅危惧種に指定される希少植物のキタミソウの群生地がある。
- 課題
  - ・安全性の確保及び景観の保持
    - 東京葛西用水においては護岸や人道橋に劣化等がみられ、安全性の確保や景観の保持について課題がある。護岸は浸食により、水辺に近づくには危険な状態にあり、景観も損ねている。人道橋は草加さくら祭りのメイン会場にあるが、経年劣化がみられ、架替えの時期を迎えている。
  - ・市民の認知度の向上
    - 市民が東京葛西用水及び周辺スポットについて知る機会をつくり、理解度を深めることで、地域に愛着と誇りを持てるようにすることが必要です。

## 位置図

案内板の整備例

修景護岸及び花壇の整備

親水護岸の整備

老朽化した橋梁の架換え

歩道の整備例(道路管理者)

## 事業等の概要

### ハード

### ソフト

- 修景護岸及び花壇整備 (延長約290m)
  - ・石積護岸等景観に配慮
  - ・花壇を整備
- 親水護岸整備 (延長約380m)
  - ・景観に配慮した護岸の整備
- 人道橋整備 (1橋)
  - ・老朽した人道橋の架け換え
  - ・イベント等も開催されるため、景観に配慮した整備
- 案内板の整備
  - ・駅や周辺スポット等に案内板を設置し新たな回遊ルートを提案する(草加松原、歴史民俗資料館、東京葛西用水、八潮市へのルート)
- 左岸側歩道の整備 (道路管理者)
  - ・幹線道路沿いの歩道と葛西用水沿いの遊歩道が連続。バス停からのアクセスも向上する。

- イベント開催の支援
  - ・草加さくら祭
  - ・ウォーキング会
  - ・自然観察会
  - ・河川環境展
- 情報発信
  - ・葛西用水散策マップの配布

## 工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
修景護岸及び花壇整備		●	●	●	●	232百万円
親水護岸整備			●	●	●	114百万円
人道橋整備		●	●			21.6百万円
案内板の整備					●	2百万円

※想定事業費は市負担分も含む

## 位置図



通水状況



非灌漑期の状況

## 実施してほしい整備概要

水辺に親しむ場を創出するためには、四季を通じて、そこで水に触れられることが重要と考えます。そのため、冬期試験通水の法制化など、通年通水の確保による水質の向上に向けた関係機関との調整等を行っていただきたい。

- 東京葛西用水で現在実施されている冬期通水の継続  
(河川管理者、関係者への働きかけと調整)
- 年間を通じての、水量の安定供給

## 工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
冬期通水	●	—————				